

LONG800_2

3001: 美^{びしゅう}醜^{めやす}の目^{ひと}安^いは人^{いっばん}それぞれで、一^{ぎやく}般^{きじゅん}とは逆^えの基^き準^{じゅん}もあり得^えますよね？

3002: ステュークリが、ギオールギェヴィチュの^め目^{ぎょうし}を凝^め視^{ぎょうし}し、アイコンタクトで

^{なに}何^{うった}か^う訴^うえ^たみたいです。

3003: ボロヴニツアの^{ひろば}広^{きしょう}場で、ファビエヌが希^{きしょう}少^{しゅう}なスモーキークォーツを^{じゅうこ}十^{じゅう}個^こほど

^う埋^うめ^ました。

3004: ベリスフォードは、ドラッグストアで^{くぼ}配^{くすり}ら^{ぎやく}れたサ^{みぬ}ンプ^ぬルの^{くすり}薬^{ぎやく}が、偽^{みぬ}薬^ぬだと見^み抜^ぬきました。

3005: イーウクィへ行くには、^い上^{うわやく}役^{げんち}の言^と質^{ねまわ}を取^{ひつよう}るため、根^{ねまわ}回^{ひつよう}しが必^{ひつよう}要^{よう}です。

3006: 人^{ひと}に限^{かぎ}らず、あ^いら^{いのち}ゆる^{たつと}命^{ちか}を^{ちか}貴^{もろ}ぶと誓^{くず}ったシャウミヤンだが、も^{もろ}う^{くず}脆^{くず}く崩^{くず}れそ^{くず}うで^{くず}す。

3007: ピューピューと^{かぜ}風^きを切^{おと}る音^なが鳴^{なか}る中^{なか}、フェレイドゥンの^{かんだか}甲^{こえ}高^{かす}い声^{かす}が微^{かす}かに

^き聞^きこ^ええ^ますね。

3008: 亭^{ていしゅ}主^{しゅ}は「で^くえ^{かえ}じ^いょう^いぶ^い」と繰^いり^{あたま}返^{あたま}しますが、一^い家^い崩^い壊^{あたま}が^{あたま}頭^{あたま}を^{あたま}よ^{あたま}ぎ^{あたま}り^{あたま}ま^{あたま}す。

3009: ジェンドゥーバのマイナーなラジ^{ばんぐみ}オ^{ひやつつう}番^{たよ}組^よに、百^{たよ}通^よものお便^よりが寄^よせ^よられてい^よま^よす。

3010: 今^け朝^さのヴェス^{はだざむ}ティ^{がいしゅつじ}ニエは肌^き寒^きく、外^き出^き時^きはウ^きィン^きター^きコ^きート^きを^き着^きる^きべ^きき^きです。

3011: ヴェル^{くちぶえ}ディ^なが口^{ひつじ}笛^{あらわ}を鳴^{かす}らすと羊^{にじゅつびき}が^{にじゅつびき}ゾ^{にじゅつびき}ロ^{にじゅつびき}ゾ^{にじゅつびき}ロと^{にじゅつびき}現^{にじゅつびき}れ、そ^{にじゅつびき}の^{にじゅつびき}数^{にじゅつびき}は二^{にじゅつびき}十^{にじゅつびき}匹^{にじゅつびき}であ^{にじゅつびき}った。

3012: 熟^{じゅく}したグ^{ぜんりよく}レー^{しほ}プ^{しほ}フル^{つく}ーツ^{つく}を^{つく}全^{つく}力^{つく}で^{つく}ギ^{つく}ュ^{つく}つと^{つく}絞^{つく}り、ジ^{つく}ュー^{つく}ス^{つく}を^{つく}作^{つく}り^{つく}ま^{つく}す。

3013: 獵^{りょうし}師^がにな^{がいじゅうくじょ}って^{いらい}から害^{ろっぴやつけん}獣^こ駆^こ除^こを^こして^こお^こり、依^こ頼^こは六^こ百^こ件^こを^こ超^こえ^こま^こした。

3014: ツ^{いっしゅく}ァ^{いっばん}ン^{おんぎ}ディ^{おんぎ}は、ミ^{おんぎ}ョ^{おんぎ}ン^{おんぎ}フ^{おんぎ}ァ^{おんぎ}に^{おんぎ}一^{おんぎ}宿^{おんぎ}一^{おんぎ}飯^{おんぎ}の^{おんぎ}恩^{おんぎ}義^{おんぎ}が^{おんぎ}あ^{おんぎ}り、ピン^{おんぎ}チ^{おんぎ}の^{おんぎ}時^{おんぎ}には

^かすぐ^か駆^かけ^かつ^かけ^かま^かす。

3015: ス^{おんてき}ィ^{いっぼう}ヴィ^{いっぼう}リー^{いっぼう}ノ^{いっぼう}ヴィ^{いっぼう}チュ^{いっぼう}に^{いっぼう}怨^{いっぼう}敵^{いっぼう}は^{いっぼう}い^{いっぼう}な^{いっぼう}い^{いっぼう}一^{いっぼう}方^{いっぼう}、ヴ^{いっぼう}ラ^{いっぼう}ディ^{いっぼう}ツ^{いっぼう}ツ^{いっぼう}ァ^{いっぼう}が^{いっぼう}良^{いっぼう}き^{いっぼう}ライ^{いっぼう}バル^{いっぼう}で^{いっぼう}す。

3016: フェ^{あし}リ^{ゆび}ツ^{せいみつ}ツ^{せいみつ}ァ^{せいみつ}ー^{せいみつ}ノ^{せいみつ}は、足^{わぎ}の^も指^もで^もボ^もリ^もュ^もーム^もを^も精^も密^もに^もコ^もン^もト^もロ^もール^もする^も技^もを^も持^もち^もま^もす。

3017: トニャツツイの ^{じんりよく} 尽 ^{せきゆ} 力 ^{ゆうしゅつ} で石油が湧 ^{ざいせい} 出 ^{きしかいせい} し、財 ^{きばくざい} 政 ^き が起死回生する起爆剤となりました。

3018: 五 ^{ごじゅうおん} 十 ^{こうせい} 音 ^{ぶん} のみで構 ^{ぶん} 成 ^{かんせいど} される文 ^{でこぼこ} と、デ ^{ふく} ョ ^{ぶん} やデ ^{かんせいど} ャ ^{でこぼこ} を含 ^{でこぼこ} む文 ^{でこぼこ} では、完 ^{かんせいど} 成 ^{でこぼこ} 度 ^{でこぼこ} が凸 ^{でこぼこ} 凹 ^{でこぼこ} します。

3019: 肩 ^{かたな} 慣 ^{からて} らしに、空 ^{しはん} 手 ^{みょうぎ} の師 ^{ひろ} 範 ^{ひろ} であるス ^{ひろ} コ ^{ひろ} プ ^{ひろ} ツ ^{ひろ} オ ^{ひろ} ワ ^{ひろ} の妙 ^{ひろ} 技 ^{ひろ} を、グ ^{ひろ} ミ ^{ひろ} ャ ^{ひろ} ン ^{ひろ} ト ^{ひろ} に広 ^{ひろ} め ^{ひろ} たい ^{ひろ} です ^{ひろ} な。

3020: コ ^{にゅうしょう} ン ^{にゅうしょう} テ ^{にゅうしょう} ス ^{にゅうしょう} ト ^{にゅうしょう} で ^{にゅうしょう} 入 ^{にゅうしょう} 賞 ^{にゅうしょう} したピ ^{にゅうしょう} ェ ^{にゅうしょう} ール ^{にゅうしょう} には、副 ^{ふくしょう} 賞 ^{ふくしょう} と ^{ふくしょう} し ^{ふくしょう} て ^{ふくしょう} ゴ ^{ふくしょう} ー ^{ふくしょう} ジ ^{ふくしょう} ャ ^{ふくしょう} ス ^{ふくしょう} な ^{ふくしょう} ト ^{ふくしょう} ロ ^{ふくしょう} フ ^{ふくしょう} ィ ^{ふくしょう} ー ^{ふくしょう} が ^{ふくしょう} 贈 ^{そうてい} 呈 ^{そうてい} され ^{そうてい} ます ^{そうてい}。

3021: メ ^{たぼう} チ ^{たぼう} ャ ^{たぼう} メ ^{たぼう} チ ^{たぼう} 多 ^{たぼう} 忙 ^{たぼう} な ^{たぼう} フ ^{たぼう} ル ^{たぼう} ク ^{たぼう} ル ^{たぼう} ク ^{たぼう} が、ポ ^き ス ^き タ ^き ー ^き セ ^き ッ ^き シ ^き ョ ^き ン ^き に ^き 来 ^き て ^き く ^き れ ^き る ^き と ^き は ^き 幸 ^{しあわ} せ ^{しあわ} です ^{しあわ} ね ^{しあわ}。

3022: チ ^{なにごと} ェ ^{きんべん} ギ ^{さつきよく} ョ ^な ン ^な は ^な 何 ^な 事 ^な にも ^な 勤 ^な 勉 ^な である ^な が、作 ^な 曲 ^な だけ ^な は ^な 何 ^な 故 ^な か ^な 変 ^な 拍 ^な 子 ^な に ^な こ ^な だ ^な わ ^な り ^な ます ^な。

3023: ウ ^{しゅつだい} イ ^{こゆう} ツ ^{けいさん} イ ^{なんかい} リ ^と ウ ^{まえ} イ ^{まえ} ト ^{まえ} ル ^{まえ} 出 ^{まえ} 題 ^{まえ} の、固 ^{まえ} 有 ^{まえ} ベ ^{まえ} ク ^{まえ} ト ^{まえ} ル ^{まえ} 計 ^{まえ} 算 ^{まえ} が ^{まえ} 難 ^{まえ} 解 ^{まえ} で、解 ^{まえ} く ^{まえ} 前 ^{まえ} から ^{まえ} 武 ^{むしやぶる} 者 ^{むしやぶる} 震 ^{むしやぶる} い ^{むしやぶる} が ^{むしやぶる} 出 ^{むしやぶる} ます ^{むしやぶる}。

3024: グ ^{しゅじゅつまえ} ル ^{しゅじゅつまえ} ー ^{しゅじゅつまえ} ネ ^{しゅじゅつまえ} ウ ^{しゅじゅつまえ} ェ ^{しゅじゅつまえ} ェ ^{しゅじゅつまえ} ゲ ^{しゅじゅつまえ} ン ^{しゅじゅつまえ} は、手 ^{しゅじゅつまえ} 術 ^{しゅじゅつまえ} 前 ^{しゅじゅつまえ} に ^{しゅじゅつまえ} 麻 ^{しゅじゅつまえ} 酔 ^{しゅじゅつまえ} を ^{しゅじゅつまえ} 打 ^{しゅじゅつまえ} た ^{しゅじゅつまえ} れ、術 ^{しゅじゅつまえ} 後 ^{しゅじゅつまえ} も ^{しゅじゅつまえ} 意 ^{しゅじゅつまえ} 識 ^{しゅじゅつまえ} が ^{しゅじゅつまえ} 朦 ^{しゅじゅつまえ} 朧 ^{しゅじゅつまえ} と ^{しゅじゅつまえ} し ^{しゅじゅつまえ} て ^{しゅじゅつまえ} ます ^{しゅじゅつまえ}。

3025: ビ ^{めいし} ャ ^{ばつすい} ル ^{なら} キ ^{しゅつげんひんど} が、ツ ^{しら} アル ^{しら} ファ ^{しら} テ ^{しら} ィ ^{しら} ー ^{しら} ト ^{しら} の ^{しら} 名 ^{しら} 詞 ^{しら} を ^{しら} 抜 ^{しら} 粋 ^{しら} し ^{しら} 並 ^{しら} べ ^{しら} て、出 ^{しら} 現 ^{しら} 頻 ^{しら} 度 ^{しら} を ^{しら} 調 ^{しら} べ ^{しら} て ^{しら} ます ^{しら}。

3026: ブ ^{ゆうじょう} ラ ^{きれつ} ッ ^{はい} シ ^{たもと} ョ ^わ ー ^わ と、イ ^わ ニ ^わ ャ ^わ リ ^わ ト ^わ ウ ^わ の ^わ 友 ^わ 情 ^わ に ^わ 亀 ^わ 裂 ^わ が ^わ 入 ^わ り、袂 ^わ を ^わ 分 ^わ か ^わ つ ^わ こ ^わ と ^わ に ^わ な ^わ り ^わ ました ^わ。

3027: 単 ^{たんぱつ} 発 ^{かんきやく} の ^わ ラ ^わ イ ^わ ヴ ^わ で ^わ 観 ^わ 客 ^わ を ^わ 沸 ^わ か ^わ せ ^わ た ^わ デ ^わ ュ ^わ ル ^わ ヴ ^わ ィ ^わ ル ^わ が、フ ^わ ァ ^わ ン ^わ と ^わ キ ^わ ャ ^わ ッ ^わ チ ^わ ボ ^わ ー ^わ ル ^わ し ^わ て ^わ ます ^わ。

3028: デ ^{ひそ} ヘ ^{ひそ} イ ^{ひそ} ヴ ^{ひそ} ン ^{ひそ} は、フ ^{ひそ} ェ ^{ひそ} ン ^{ひそ} ツ ^{ひそ} ァ ^{ひそ} ー ^{ひそ} ズ ^{ひそ} に ^{ひそ} 潜 ^{ひそ} む ^{ひそ} ス ^{ひそ} パ ^{ひそ} イ ^{ひそ} を ^{ひそ} 自 ^{ひそ} 身 ^{ひそ} の ^{ひそ} 手 ^{ひそ} で ^{ひそ} 召 ^{ひそ} し ^{ひそ} 取 ^{ひそ} る ^{ひそ} た ^{ひそ} め ^{ひそ}、捕 ^{ひそ} 吏 ^{ひそ} に ^{ひそ} な ^{ひそ} る ^{ひそ} と ^{ひそ} ？ ^{ひそ}

3029: ヒ ^{あわおど} ュ ^{ひろ} ブ ^{ひろ} ラ ^{ひろ} で ^{ひろ} 阿 ^{ひろ} 波 ^{ひろ} 踊 ^{ひろ} り ^{ひろ} を ^{ひろ} 披 ^{ひろ} 露 ^{ひろ} し ^{ひろ} た ^{ひろ} ジ ^{ひろ} オ ^{ひろ} ビ ^{ひろ} ナ ^{ひろ} ツ ^{ひろ} ツ ^{ひろ} オ ^{ひろ} は、無 ^{ひろ} 事 ^{ひろ} に ^{ひろ} 住 ^{ひろ} 人 ^{ひろ} と ^{ひろ} 打 ^{ひろ} ち ^{ひろ} 解 ^{ひろ} け ^{ひろ} ました ^{ひろ}。

3030: 空 ^{くうぜんぜつご} 前 ^{いぎよう} 絶 ^{いぎよう} 後 ^{いぎよう} の ^{いぎよう} 偉 ^{いぎよう} 業 ^{いぎよう} は、カ ^{いぎよう} ラ ^{いぎよう} ジ ^{いぎよう} ョ ^{いぎよう} ル ^{いぎよう} ジ ^{いぎよう} ェ ^{いぎよう} ヴ ^{いぎよう} ィ ^{いぎよう} チ ^{いぎよう} の ^{いぎよう} イ ^{いぎよう} レ ^{いぎよう} ギ ^{いぎよう} ュ ^{いぎよう} ラ ^{いぎよう} ー ^{いぎよう} な ^{いぎよう} 処 ^{いぎよう} 置 ^{いぎよう} が ^{いぎよう} き ^{いぎよう} っ ^{いぎよう} か ^{いぎよう} け ^{いぎよう} です ^{いぎよう}。

3031: ペ ^{こうはい} シ ^{かば} ョ ^{かば} は ^{かば} 後 ^{かば} 輩 ^{かば} を ^{かば} 庇 ^{かば} い、最 ^{さいご} 後 ^{さいご} ま ^{さいご} で ^{さいご} 立 ^{りつぱ} 派 ^{りつぱ} に ^{りつぱ} 職 ^{しよくむ} 務 ^{しよくむ} を ^{しよくむ} 果 ^は た ^は し、殉 ^{じゅんしよく} 職 ^{じゅんしよく} しま ^{じゅんしよく} した ^{じゅんしよく}。

3032: ヴ ^{りくじょうにひやく} ェ ^{りくじょうにひやく} ニ ^{りくじょうにひやく} ャ ^{りくじょうにひやく} イ ^{りくじょうにひやく} で ^{りくじょうにひやく} 陸 ^{りくじょうにひやく} 上 ^{りくじょうにひやく} 二 ^{りくじょうにひやく} 百 ^{りくじょうにひやく} メ ^{りくじょうにひやく} ー ^{りくじょうにひやく} ト ^{りくじょうにひやく} ル ^{りくじょうにひやく} 走 ^{りくじょうにひやく} が ^{りくじょうにひやく} あ ^{りくじょうにひやく} り、俊 ^{しゆんそく} 足 ^{しゆんそく} の ^{しゆんそく} グ ^{しゆんそく} ア ^{しゆんそく} ツ ^{しゆんそく} ツ ^{しゆんそく} オ ^{しゆんそく} ー ^{しゆんそく} ニ ^{しゆんそく} が ^{しゆんそく} 五 ^{ごちゃく} 着 ^{ごちゃく} でした ^{ごちゃく}。

3033: ギ ^な ャ ^な ー ^な ギ ^な ャ ^な ー ^な 鳴 ^な く ^な ム ^な ク ^な ド ^な リ ^な と ^な チ ^な ュ ^な ン ^な チ ^な ュ ^な ン ^な 鳴 ^な く ^な ス ^な ズ ^な メ ^な だ ^な っ ^な た ^な ら、僕 ^{ぼく} は ^{ぼく} 後 ^{こうしゃ} 者 ^{こうしゃ} を ^{この} 好 ^{この} む ^{この} ます ^{この}。

3034: ツ ^{かたみ} ァ ^{やまぶきいろ} ウ ^{きようえいみずぎ} ニ ^{きようえいみずぎ} ャ ^{きようえいみずぎ} は、形 ^{かつ} 見 ^{ちやくよう} である ^{ちやくよう} 山 ^{ちやくよう} 吹 ^{ちやくよう} 色 ^{ちやくよう} の ^{ちやくよう} 競 ^{ちやくよう} 泳 ^{ちやくよう} 水 ^{ちやくよう} 着 ^{ちやくよう} を、ゲ ^{ちやくよう} ン ^{ちやくよう} 担 ^{ちやくよう} ぎ ^{ちやくよう} に ^{ちやくよう} 着 ^{ちやくよう} 用 ^{ちやくよう} する ^{ちやくよう} そ ^{ちやくよう} う ^{ちやくよう} です ^{ちやくよう}。

3035: リ ^{しよくにん} ャ ^{しんちゆう} ザ ^{なべ} ニ ^{はつちゆう} の ^{はつちゆう} 職 ^{はつちゆう} 人 ^{はつちゆう} に ^{はつちゆう} 真 ^{らいげつ} 鍬 ^{らいげつ} の ^{のうき} 鍋 ^{のうき} を ^ま 発 ^ま 注 ^ま し、来 ^ま 月 ^ま の ^ま 納 ^ま 期 ^ま を ^ま 待 ^ま っ ^ま て ^ま い ^ま ます ^ま。

3036: ミエシュコが^{かい}はつ^{ぎしゅ}開^{ぎそく}発した義手や義足は、^へた^{にんげん}下手な人間より^{きよう}つか^{がって}器用で使い勝手も^よ良いです。

3037: ^{いじ}意地になってもウェリオンには^{たちう}太刀打ちできないから、^{すなお}素直に^{おし}教えを^こ乞いなさいませ。

3038: ^{ふた}二つの^{おんげん}音源は^{ちようかんじょうに}聴感上似ているが、^{しんごうしより}デジタル信号処理で^{ごさ}誤差を^{はか}測ると^{べつもの}別物です。

3039: ^{だいいりさま}お内裏様が^{りかん}罹患した、^{えきびょう}疫病の特効薬を^{とっこうやく}調合したのは、^{ちようごう}シェフェールですか？

3040: ^{ごひやくえんだま}ピカピカの五百円玉が^{かど}角に^お落ちてましたが、^お落とし主は^{ぬし}恐らく^{おそ}シュピッツァーです。

3041: ^{ぎのうすいじゅん}シェウチェーンコの技能水準は^{たか}高いが、^{きた}メンタルを^{かだい}鍛えることが課題ですね。

3042: ^{いかく}チュクウエメカは、^{にら}チンピラに^{かえ}威嚇されると^{つよき}睨み返すほど、強気なパーソナリティーです。

3043: ^{よんひき}マウオポルスカに^つペットを^い四匹も^{にってい}連れて行くと、^{かくほ}日程の確保が^{むづか}難しいですね？

3044: ^{かぎ}アイヒエンツェルに^{はだか}限らず、^{そと}裸で^{はいかい}外を徘徊すれば、^{たちま}忽ち^{なわ}お縄を^{ちようだい}頂戴します。

3045: ^はバディージョの^{すがた}晴れ姿を^{おさ}カメラに^み収め、^みチュンハーウオンにも^み見せてあげましょう。

3046: ^もエドゥアルドが^あ持っている^{むなもと}パーピュアの^{あや}アクセサリーが、^{ひか}胸元で妖しく^{ひか}光ってます。

3047: ^{よわ}ジュドゥランと^{にぎ}ヒューリッヒは、^{おど}ゼンツォフの^{おど}弱みを^{おど}握り、^{おど}ジワジワと^{おど}脅しています。

3048: ^{なま}イエッツォが^{しょうきやく}生ごみを^{くさ}焼却し、^{やくわり}ウォズニアッキが^{やくわり}草むしりする^{やくわり}役割です。

3049: ^あレッドの^あシャツに^あブラックの^あジャケットを^あ合わせる^あファッションが、^{みやくみやく}脈々と

^{ねづ}根付いています。

3050: ^{はってん}フィエロツツォ^{たてやくしゃ}発展の^{ひとびと}立役者である^{へいふく}ウェンズィを、^{むか}人々は^{むか}平伏して^{むか}迎えました。

3051: ^{みず}パリヤーレスは^{めいがら}水に^{よう}うるさく、^{ゆにゆう}マニアックな^{ゆにゆう}銘柄を^{ゆにゆう}コーヒー用^{ゆにゆう}に^{ゆにゆう}輸入しています。

3052: ^よペロペロに^{ばら}酔っ^{あらそ}払い^{あらそ}争うように、^{さわ}バカ^{おろ}騒ぎする^{もの}愚か者など^み見るに^た堪えませんよ。

3053: ^めゲグァンは^さ目が^{いちばん}覚めると、^{しれい}いの^{かくにん}一番に^{かくにん}パディーリャからの^{かくにん}指令を^{かくにん}確認します。

3054: ^{ふんまつ}粉末の^{くすり}薬を^のシュウエドワは^{えきたい}飲めず、^{えきたい}液体にするか、^{つつ}オブラートに^の包み^の飲むか

どちらかです。

3055: ボージューズが^{かんとく}監督に^つ就き、^{じゃくしょう}弱小チームが、四年で^{よねん}強豪^{きやうごう}へ^{へんぼう}変貌^とを遂げました。

3056: そうだなあ、チャニャラルでペットを^か飼うなら、^{うさぎ}兎^{ねったいぎよ}か^す熱帯魚^すがお勧めですよ。

3057: ウォーミングアップはそろそろ^お終わり、^{ひゃっこ}百個のオレンジを^す素手で^{しば}搾^{さぎやう}る^{かいし}作業^{かいし}の開始です。

3058: プウォックで^{しょうがい}生薑^{くずゆ}入りの葛湯を^の飲み、^{さむぞら}寒空で^{よどお}夜通しの^{けいび}警備^{そな}に^{そな}備えます。

3059: トウドールは、ランキングが^{かい}下位の^{ちやうせん}ギャルマトの^さ挑戦^{こしぬ}を避け、腰抜けと
バッシングされました。

3060: ヴェスイエールは^{ぐず}愚図だと^{やゆ}揶揄されるが、^はピョコピョコ^{かえる}跳ねる^{はし}蛙^つを^つ箸で摘まめます。

3061: ^{ほうしよく}飽食^{じだい}の時代が^お終わりを^つ告げ、^{しょうくりやうなん}食糧難^{はじ}が始まると^{すいそく}フェニックスは^{すいそく}推測しています。

3062: あれから、シェディアックの^{ちやや}茶屋で、^{かんび}デュゴミエと^{わがし}甘美な和菓子^たを^たたらふく食べました。

3063: ^{くろしょうぞく}黒装束^みに^{みつ}身を^{まじゆつ}包む^{とな}ドゥシュコは、^{かんろく}魔術でも^い唱え^たそうな^い貫禄^たの出で立ちです。

3064: ブリューワーは、^{ほう}法が^{ひと}人を^{さば}裁くのではなく、^{ひと}人が^{ほう}法を^{さば}捌くのだと^{とな}唱えてます。

3065: エキゾティックとドメスティックの^{ちが}違いの^{ろんじゆつ}論述^{かもく}は、この科目で^{ひんしゆつかだい}頻出^{ひんしゆつかだい}課題ですよ。

3066: ^{ひごとよごとはたら}日毎夜毎^{つづ}働^{きゆうねんご}き^{だいふふ}続け^{しら}九^め年後^だ、^{だいふふ}グオンテクは^{しら}大分^め老け^だ、^め白髪^めも^だ目立ちます。

3067: ^{ことし}今年の^{ごがつはつか}五月二十日^{たびだ}で、^{よねん}ヴォロドスが^{たびだ}マヤグェスを^{よねん}旅立^{よねん}ってから、四年になります。

3068: ^か過疎^かった^{みせ}クアイティオの^{みせ}店^{せんてん}を^{はんじやう}リュシエンヌが^{きざ}宣^{きざ}伝^{きざ}したが、^{はんじやう}繁盛^{きざ}の^{きざ}兆^{きざ}しは
^み見え^みましたか？

3069: ^{ほじよたんい}ングェーという^{ごゆらい}補助^{じじやう}単位^{くわ}は、^{じじやう}ニャンジャ^{くわ}語^{くわ}由来^{くわ}だと、^{くわ}事情^{くわ}に^{くわ}詳しい^{くわ}ウォーリーが
^{おし}教^{おし}えて^{おし}くれました。

3070: ティテュバの^{すいり}推理^{がいぜんせい}は^{とほ}蓋然^{とほ}性に^{とほ}乏^{とほ}しいが、それでも^か賭^かける^か価値^かはありそうです。

3071: パラッツォ・カナヴェーゼには、^{しゆくじよ}ファビュラスな^{やま}淑女^{ざいじゆう}が^{ざいじゆう}山^{ざいじゆう}ほど^{ざいじゆう}在^{ざいじゆう}住^{ざいじゆう}してると
^き聞^ききました。

3072: ビェーンビェーンと泣く子でも、ゴツィリゼ土産を渡せば、すぐ笑顔になれますよ。

3073: ンゼオグゥが治験をベースに学費を工面し、キャンパスライフを満喫しています。

3074: ウグリエシャは、ドウミトルを懐柔し、ソヴィッツォの自治を裏から
支配したいようです。

3075: 蛇は縁起物だが、グイヒョンから見れば、大蛇に殺されかけたトラウマの呼び水です。

3076: 結局じゃんけんで決めるが、これは紆余曲折を経て決まった、フェアな手段です。

3077: ベルデヤエフは循環バスの仕組みが分からず、二時間も乗車し続けてたそうです。

3078: ウェイクフィールドは俳優なので、仮病を装い演習をサボるのは、お手の物です。

3079: トラベルスィーの便りで、デュハメルが旅先で亡くなったことを知りました。

3080: ピッツォニアは甲殻類に食物アレルギーがあり、立食パーティーでは気を配ります。

3081: この施策はファニョニが撥ねつけたが、恙なく施行され、やれやれといった面持ちです。

3082: キャンプ中、ペルシャヒョウに襲われた、シュヴァルツェンベックの安否が
気がかりです。

3083: ところで、グルメニュースでうな重に肝吸いが付くと見ましたが、一度飲みたいです。

3084: 封建社会に疑問を憶えたイリエーナは、タイムトラベルを決意しました。

3085: ボレスワヴナは思考力が衰え、ギェケレシュが一時的に介護しています。

3086: キェプラヴィークで糸を染色し、後程ロジェストヴェンスキーが、
魚類を形作ります。

3087: キャンデロロの看病中、発作的にレヴヴォッフラーを食べたくなりました。

3088: ヴアルドゥツジャで地震があり、ギャラティの住処も土台から傾きつつあります。

3089: グクォゾは眉目秀麗で、性格も謙虚だが、百パーセント好かれるわけではないのです。

3090: グレイヴスの無駄を省いた戦略で、五倍はいたであろう敵を一掃しました。

3091: ドロシィさん、頭痛が酷く足取りもおぼつかないなら、診療所で診察しましょう。

3092: ニャブリは語尾を上げて話す癖があり、ガリアッツォが疑問文と勘違いします。

3093: もはやテョやデョを組み込むことが厳しいと思う人は、挙手してください。

3094: チェボタリョーフは、イエヴリッチを唾棄すべき人物とみなすが、誤解なのです。

3095: 文献によると、チャニティスの街は迷路のようだと、アーテューロから聞きました。

3096: 罰当たりだが、聖域でマルガリータピザを食べ、ごろ寝させてもらいます。

3097: ヴェルサイユでは、甘やかすことなく厳しく躰ける風土が根付いたそうです。

3098: チンクエッティ様、ご所望なさっていた、ウォーキングダイナソーの化石で御座います。

3099: ツェゲラーに五冊の書籍を貸したのですが、全て借りパクされたんですよ。

3100: しかしながら、シュヴィーツのリヤザンツェヴァは純朴だが、どこか惚けたキャラです。

3101: デイツツィンゲンで叶わぬ恋をしたギャリコは、駆け落ちまで頭を過っている。

3102: チェボタリョーフは極度の下戸なので、一杯のスリヴォヴィツェで酔いつぶれる。

3103: コック長 ラングフュスによるフォアグラのソテーは、クドくないが濃密な味であった。

3104: 疎開先のフォルノーヴォで、夕暮れ時に、鳥がクァークァーと五月蠅く鳴いていた。

3105: カドゥキョイのとある個人塾では、未だに小刀で鉛筆を削る訓練をする。

3106: ウグレシィチは、年商を年収と偽り、オンラインサロンで金持ちだと喧伝している。

3107: 中央アフリカに物資を送り、フォーフォードも医者として現地に赴く。

3108: 似^に合^あわぬねじり鉢^{はちまき}巻^つを付けたコツォイエフが現^{あらわ}れ、隣^{とな}りの部屋^{へや}がざわざわした。

3109: ヴォイスラヴが秘密結社^{ひみつけっしや}を主^{しゅ}宰^{さい}し、密^{ひそ}かにシュチャヴニツァなどの、エキスパートを
ひ^ひぬ^ぬ
引き抜^ひいてる。

3110: てるてる坊主^{ぼうず}を吊^つるせば晴^はれるとされるが、逆^{ぎやく}にして吊^つるすと雨^{あめ}が降^ふるのだろうか？

3111: トラブルで契約破棄^{けいやくはき}したことを、ミャルビーが蒸^むし返^{かえ}したのは、誠^{まこと}に遺憾^{いかん}である。

3112: ストーカー被害^{ひがい}で鬱^{うつ}病^{びよう}になったビエルレガードは、故郷^{ふるさと}のシュパイヒャーに避難^{ひなん}した。

3113: ジャヴォヒールが、前例^{ぜんれい}のない地脈^{ちみやく}を探^{さぐ}り当^あて、そのネタがネイチャーに採録^{さいろく}された。

3114: ファミリアとライヒャルトとの対談^{たいだん}は、終始^{しゅうしなご}和^{しんこう}やかに進^ぶ行^じし、無事^{むじ}エンディングを
むか^{むか}
迎^{むか}えた。

3115: 現代^{げんだい}で石高^{こくだか}の算出^{さんしゅつ}など無理^{むり}だと、ドゥシェビナが回^{かい}答^{とう}に窮^{きゆう}した。

3116: 離^{はな}れ離^{ばな}れになったイェンウエンとクズネツォフは、ゴルフエレンツォで再^{さいかい}会^{かい}を果^はたした。

3117: クトゥーゾフは、滑舌^{かつぜつ}が良^よくハキハキ喋^{しゃべ}るので、テレフォンオペレーターになった。

3118: 副業^{ふくぎよう}の収^{しゅう}入^{にゅう}が本業^{ほんぎよう}を超^こえるようになり、エスターライヒャーは心^{こころ}が揺^ゆらぐ。

3119: リディギエルは、秋口^{あきぐち}で急^{きゅう}激^{げき}に冷^ひえ込^こむと、体調^{たいちょう}を崩^{くず}し休^{やす}みがちになる。

3120: 崖^{がけ}の縁^{ふち}は脆^{もろ}く崩^{くず}れやすいので、ナビゲーターのグウエンから離^{はな}れないように。

3121: 緻密^{ちみつ}なミュージックも好き^すだが、ヴェイパーウェイヴの独^{どく}特^{とく}な音^{おと}も好き^すである。

3122: 五^ごコマ目^めの講義^{こうぎ}では、代理^{だいい}のベニョヴスキーから、クエルシトリナーゼについて教^{おそ}わった。

3123: 昴^{すばる}のことを六連星^{むつらぼし}と呼^よぶことを、ドヴィツィオーゾはいい加減^{かげん}覚^{おぼ}えたる？

3124: チェリシェヴォへのエクスポートを我^わが社^{しゃ}が独^{どく}占^{せん}すれば、計^{はか}り知^しれない儲^{もう}けになる。

3125: この六個^{ろっこ}入りたこ焼^やき、外^{そと}はカリっと中身^{なかみ}はトロツとジューシーで、隙^{すき}が無^ない。

3126: デュウェイは中^{ちゅう}学^{がっこう}校^{がっこう}の社会科^{しゃかい}見^{けん}学^{がく}で、山羊^{やぎ}の乳^{ちち}搾^{しぼ}りを初^{はじ}めて体^{たい}験^{けん}した。

3127: いきなり^{いしがき ほうらく}石垣が崩落し、ホリデューイ^{い う}が生き埋めとなったが、命^{いのち}に別^{べつ}状^{じょう}はなかった。

3128: 雪国^{ゆきぐに}育ちのデューミンは、スキーやスノボで転^{ころ}ばず、上^{じょう}手^ずに滑^{すべ}ることができる。

3129: 手間暇^{てまひま}かけて作^{つく}ったフィールミョルクを三^{さん}個^{こい}入れた箱^{はこ}が、坂道^{さかみち}を転^{ころ}がり落^おちた。

3130: ヴィニョーラが、アウトドアでロープを緩^{ゆる}みなく張^はって見^みせ、汚名^{おめいへん}返上^{じょう}した。

3131: モツアグローニャで通^{とお}り魔^まに刺^さされたが、出^{しゅ}血^{けつ}量^{りょう}が少^{すく}なく、輸血^{ゆけつ}無^なしで助^{たす}かった。

3132: 柿^{かき}の種^{たね}をポリポリ食^たべ、グダグダとテレビをみ^みるのが至福^{しふく}の休^{やす}み方^{かた}なのだよ。

3133: リヤドが学祭^{がくさい}で裏方^{うらかた}に徹^{てっ}しパトロールしたおかげで、アクシデントもな^{へい}く閉会^{かい}できた。

3134: ビュイックの葉書^{はがき}は行^{ぎょう}間^{かん}が狭^{せま}すぎで、老眼^{ろうがん}鏡^{きょう}がな^よいと読^{つら}むのが辛^{つら}い。

3135: 駄々^{だだ}をこねるグリューネバウムの手^てを引^ひき、ピャチナに出^でかけると大人^{おとな}しくついてきた。

3136: ギマリャンイスは時系列^{じけいれつ}解析^{かいせき}が得意^{とくい}で、株^{かぶ}でもやればビリオネアになれそう^{とど}だ。

3137: クノーヒェが略装^{りやくそう}、すなわちカジュアルウェアで、格調^{かくちょう}の高^{たか}いバンケット^きに来^きた。

3138: グィナムが、目^めをパッチリしてプリクラに写^{うつ}るやり方^{かた}を、リャザーノフと探^{さぐ}っている。

3139: ウィッテンバーグが磨^{みが}きぬいた入魂^{にゅうこん}の技^{わざ}でも、シェイヒュルイスラームには届^{とど}かない。

3140: まさに絶頂^{ぜつちょう}にいるウィッティングでさえ、盛者^{じょうしゃ}必衰^{ひつすい}の理^{ことわり}から^には逃^にげられなかった。

3141: ヒヤルマルはトロそうに見^みえて、塀^{へい}を軽々^{かるがる}よじ登^{のぼ}れるほど身軽^{みがる}なんだぜ。

3142: ヴォデャノーヴァは、ロロニョの傲慢^{ごうまん}さに腸^{はらわた}が煮^にえくり返^{かえ}り、懲^こらしめようと

かくさく
画策^{かくさく}した。

3143: 出鼻^{でばな}を透^すかした奇襲^{きしゅう}で、防^{ぼう}御^ぎ力^{りき}が百^{ひゃく}のピュアフォイを沈^{しず}め屈^{くつ}服^{ぷく}させた。

3144: クキエルは繊細^{せんさい}な手捌^{てさば}きで、握^{にぎ}り寿^ず司^しや巻^まき物^{もの}を続^{ぞく}々と仕上^{しあ}げる。

3145: 静岡^{しずおか}でヒョニョンと別^{わか}れ、和解^{わかい}するこ^{えい}とはな^{えん}く、永^あ遠^{えん}に会^あうこ^{えん}ともな^{えん}かった。

3146: 酢酸^{さくさん}は強^{きょう}烈^{れつ}な刺^し激^{げき}臭^{しゅう}で、デルタフォースのピュイグでも、十^{じゅう}秒^{びょう}は耐^たえられまい。

- 3147: ズィヤードは、人^{ひと}前^{まえ}でのスピーチで、衆^{しゅ}生^{じょう}濟^{さい}度^どという四字熟語を使うことが多い。
- 3148: スキュリツェスは、息子^{むすこ}が海^{あま}士^{めざ}を目指^きすと聞^きき、適^{てき}材^{ざい}適^{てき}所^{しよ}だと了^{りよう}解^{かい}した。
- 3149: イエンジェイチックは、天^{てん}日^びに干^ほすだけの、手^て作^{づく}りおやつを極^{きわ}めるべく傾^{けい}注^{ちゆう}する。
- 3150: 魔^ま女^{じよ}の秘^ひ薬^{やく}作^{つく}りに忙^{いそ}しいツイーツェロは、材^{ざい}料^{りよう}を求^{もと}めヴォギュエに旅^{たび}立^だつ。
- 3151: フェファーについて、妙^{みよう}な噂^{うわさ}が流^る布^ふしてるが、其^そ方^{なた}は出^で所^{どころ}を知^しっておるな。
- 3152: 村^{むら}正^{まさ}といえは、屈^{くつ}指^しの攻^{こう}撃^{げき}力^{りよく}を持^もつ刀^{かたな}だと、リーフェンシュタールが買^かっていった。
- 3153: ポントリャーギナは、百^{ひゃく}坪^{つぽ}の空^あき地^ちに、鉄^{てつ}筋^{きん}コンクリートの集^{しゅう}合^{ごう}住^{じゅう}宅^{たく}を建^たてた。
- 3154: あそこでけたたましく、チャーチャーダーダーと鳴^ないている、鳥^{とり}の種^{しゅ}別^{べつ}が知^しりたい。
- 3155: ニャルブイエでの生^{せい}活^{かつ}は綱^{つな}渡^{わた}りで、へろへろになりながらも充^{じゅう}実^{じつ}している。
- 3156: 過^{あや}ちては改^{あら}むるに憚^{はば}ること勿^{なか}れ、と言^いったチェルクォッツィの声^{こえ}が、頭^{あたま}を過^{よぎ}る。
- 3157: ネマニャは洋^{よう}画^がも邦^{ほう}画^がも好^すきだが、オフィシャルにはアニメ好^ずきで知^しられている。
- 3158: 普^ふ段^{だん}から型^{かた}破^{やぶ}りなフェルドウスィーだが、予^よ想^{そう}を超^こえた利^り益^{えき}をもたらすこともある。
- 3159: 六^{ろく}月^{がつ}の選^{せん}挙^{きょ}で、ギョンウォンはライバルを後^{しり}目^めに衆^{しゅう}望^{ぼう}を受^うけ、血^ちが滾^{たぎ}る。
- 3160: リュッツォウは、へらへらと笑^{わら}いながら、ちゃっかり鍋^{なべ}奉^ぶ行^{ぎょう}のポジションについた。
- 3161: 実^{じつ}際^{さい}のところ、レヴォリューションが他^た愛^{あい}もなく達^{たつ}成^{せい}できるなんざ、あり得^えないがな。
- 3162: 拷^{ごう}問^{もん}は、ジュネーヴ諸^{しよ}条^{じょう}約^{やく}で禁^{きん}じられていると、ヴァグネルに伝^{でん}言^{ごん}だ。
- 3163: 草^{くさ}陰^{かげ}に隠^{かく}した三^{さん}脚^{きゃく}にキヤメラを設^{せつ}置^ちし、スコルツェニーの密^{みつ}会^{かい}相^{あい}手^てを探^{さぐ}りだす。
- 3164: ドブローウェンは、メディア露^ろ出^{しゅつ}に積^{せつ}極^{きよく}的^{てき}だったが、数^{すう}か月^{げつ}で途^と切^ぎれ
- 見^みかけなくなった。
- 3165: 服^{ふく}装^{そう}に無^む頓^{とん}着^{ちゃく}なヴィルヌーヴだが、グリューンベルクに論^{さと}され洒^{しゃ}脱^{だつ}になった。
- 3166: 震^{しん}災^{さい}でアギェポンのマンションが倒^{とう}壊^{かい}したが、実^{じつ}害^{がい}は最^{さい}小^{しょう}限^{げん}で済^すんだ。

- 3167: 知^{ちりよく}力^{たか}を高^{まほう}めると、魔法^{おぼ}を覚^{きょう}え強^{じょうほう}キャラになれる情^{よんこ}報^こを、クリームブリュレ^{よんこ}四個^こで
か
買^かった。
- 3168: 光^{ひかり}と影^{かげ}の布^{ぬの}を接^つぎ、神父^{しんぶ}が祈^{いの}りを捧^{ささ}げれば、聖^{せい}なるアミュレット^でが出来^{きあ}上がる。
- 3169: ビョルゲは激^{げきむ}務^むでグロッキーだが、そこまで追^おい詰^つめた雇^{やと}い主^{ぬし}に、良^{りょうしん}心^{かしやく}の呵^か責^{ざい}はない。
- 3170: ムルカルクゥは筋^{すじ}金^{かね}入^いりの博^{はく}徒^とで、イカサマも疑^{うたが}われる不^ふ敗^{はい}のジャンキーだ。
- 3171: セジウィックが烈^{れつ}火^かの如^{ごと}く怒^{おこ}っており、柳^{りゅう}眉^びを逆^{さか}立^だてるを地^じで行^いく表^{ひょう}情^{じょう}だ。
- 3172: ゴドイフィリョが人事^{じんじ}を統^すべる立^{たち}場^ばに就^ついてから、ファニーニョなど優^{ゆう}秀^{しゅう}な
じんざい そろ
人^{じん}材^{ざい}が揃^{そろ}った。
- 3173: ベツォプは勘^{かん}が鋭^{すど}いので、ブラムウェルからの無^む茶^{ちゃ}振^ぶりを、小^こ賢^{ぜん}しくぼやかした。
- 3174: グエイエは、漢^{かん}詩^しの詩^し八^は病^{びょう}を調^{しら}べ、六^{むつ}つは分^わかったが残^{のこ}り二^{ふた}つが分^わからなかった。
- 3175: 切^{せつ}羽^{ぱつ}詰^つまったブウォジミェシは、著^ち名^{めい}な神^{じん}社^{じゃ}で、科^か研^{けん}費^ひの採^{さい}択^{たく}を発^{ほつ}願^{がん}した。
- 3176: ビリヤレトディノフは、敬^{けい}語^ごと謙^{けん}譲^{じょう}語^ごの使^{つか}い方^{かた}がグチャグチャで、ヒヤヒヤする。
- 3177: 三^{さん}月^{がつ}に、シェローのアパートの外^{がい}壁^{へき}を塗^と装^{そう}するが、カラーはエクリュにしたい。
- 3178: ヒュプラーが抜^ぬけたので、スケジュールを前^{まえ}倒^だしし、入^{にゅう}荷^か数^{すう}も五^ご匹^{ひき}から八^{はっ}匹^{びき}にする。
- 3179: 期^き日^{じつ}から逆^{ぎゃく}算^{さん}したが、ドングオンがヒュッテンゲゼースに行く^いのは三^{みつ}日^か後^ごでどうだ？
- 3180: その手^ては、一^{ひと}目^め筋^{すじ}だが緩^{かん}手^{しゅ}で、このちよとしたミスが敗^{はい}着^{ちゃく}になる接^{せつ}戦^{せん}だった。
- 3181: グアルニエリは、刃^{やいば}を振^ふるわれ奇^き跡^{せき}的^{てき}に躲^{かわ}せたが、下^へ手^たすれば袈^け裟^さ斬^{ざん}りで即^{そく}死^しだった。
- 3182: ジョウエルさん、芸^{げい}人^{にん}とはいえ、病^{びょう}室^{しつ}で縁^{えん}起^ぎでもない冗^{じょう}談^{だん}はやめなさいね？
- 3183: ヒューバートを温^{おん}存^{ぞん}し、ここはギニャスとパティーニョで五^ご人^{にん}抜^ぬきしてもらうぜ。
- 3184: 甘^{あま}っちょろい標^{ひょう}語^ごを掲^かげたヴィツォレクだが、それでサヴァイヴできただろうか。
- 3185: 汗^{あせ}っかきのテュークスベリーが選^{えら}んだ麻^あ生^さ地^じは、さぞや吸^き水^{ゆう}力^{りよく}が高^{たか}いだろう。

3186: フィリッピは、シェアハウス仲間であるバシュキルツェフの干渉^{なかま かんしょう}に、
ほとほと嫌気^{いやけ}がさした。

3187: 颯爽^{さつそう}と走るセルメニョのペースに巻き込まれると、バテてすぐ力尽^{ちからつ}きるぞ。

3188: つぶらな瞳^{ひとみ}のキャスパーは、選挙^{せんきょ}に出馬^{しゅつぱ}して、八票差^{はつひょうさ}で当選^{とうせん}を果たした。

3189: ツェティニエで開かれた大会^{たいかい}に、九時間かけて参加^{くじかん}しに行ったチームが、初戦^{しょせん}で退^{しりぞ}く。

3190: 自作^{じさく}した巾着^{きんちゃく}袋^{ぶくろ}をアルテヨムが欲^ほしがるので、新た^{あら}に作^{つく}ってあげた。

3191: ギャビーが、己^{おのれ}を優先^{ゆうせん}してほしい一心^{いつしん}で、木鐸^{ぼくたく}のジルヒャーに、チューニョを貢^{みつ}ぐ。

3192: サピェガ必殺^{ひっさつ}の策^{さく}は、桑原^{くわばら}に見抜^{みぬ}かれ不発^{ふはつ}だったのに、小癩^{こしゃく}にもしらばっくれてると？

3193: テヤやクィ、グィの単語^{たんご}は既に枯渴^{すで}したが、平仮名^{こかつ}で習^{ひらがな}うピヤやビヤが少^{なら}ないのは、
腑^ふに落^おちない。

3194: ドウシャンよ、メンデルスゾーンのコンツェルトシュテュックに、ピアノなど
鍵盤^{けんぱん}楽^{がっき}器^きのパート^なは無いぞ。

3195: プーニョはギャザラの孫^{まご}で、日頃^{ひごろ}から祖父母^{そふぼ}に、無能^{むのう}な部下^{ぶか}の愚痴^{ぐち}をこぼしている。

3196: 天使^{てんし}や悪魔^{あくま}の羽^{はね}なら、ズビヤギンツェフに頼^{たの}めば、ため息^{いき}が出^でる美^{うつく}しい
出来^{でき}栄^ええとなろう。

3197: オリエークは、人里^{ひとざと}離れた断崖絶壁^{だんがいぜつぺき}に、テントを張^はって寝泊^{ねとま}りする。

3198: 申し訳^{もう}ないが、リュッツェンからジェンツォーネへの厳密^{げんみつ}な方角^{ほうかく}は、
マニアック過^すぎて分^わからぬ。

3199: 流石^{さすが}に、チャットフィールドと例^{れい}の立^たて籠^こもり事件^{じけん}を絡^{から}めるのは、筋違^{すじちが}いだろ。

3200: ミニョーニャは、悪事^{あくじ}を重^{かさ}ねるキュニョーを根気^{こんき}よく諫^{いさ}め続^{つづ}け、遂^{つい}に改心^{かいしん}させた。